

平成27年度 第1回 和光市防災会議議事録

1. 日時・場所

平成27年7月17日（金） 15:00～15:40 和光市役所 5階 502会議室

2. 出席者

会 長：松本 武洋（市長）

第一号委員：中村 太喜（国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、副所長、加藤所長代理）

第二号委員：水村 正和（埼玉県朝霞県土整備事務所、所長）

星野 敦志（埼玉県南西部地域振興センター、所長）

第三号委員：新木 謙太郎（朝霞警察署、警備課第3係長、多ヶ谷署長代理）

奥富 真吾（朝霞警察署、警備課長）

第四号委員：大野 健司（副市長）

廣塚 雅史（危機管理監）

本間 修（市民環境部長）

東内 京一（保健福祉部長）

星野 賢（建設部長）

松橋 香二（上下水道部長）

郡司 孝行（議会事務局長）

安井 和男（監査委員事務局長）

梶原 絵里（保健福祉部健康支援課統括主査）

柴田 貴子（保健福祉部健康支援課保健師）

第五号委員：大久保 昭男（和光市教育委員会、教育長）

第六号委員：轟 君昭（埼玉県南西部消防本部、警防課主幹、福田消防長代理）

第七号委員：富岡 宗一（和光市消防団、団長）

第八号委員：油利 賢太郎（東日本電信電話(株)埼玉事業所 埼玉南支店、オフィス営業部門長、近藤支店長代理）

吉川 昇（東武鉄道(株)和光市駅、駅長）

菊池 義輝（東京電力(株)志木支社、志木制御所長）

深田 実（東京ガス(株)北部支店、副支店長、高木支店長代理）

第九号委員：萩原 尚（和光市自治会連合会、理事）

渡井 悦子（和光市民生委員児童委員協議会、副会長）

（欠席）

第一号委員：星野 定美（さいたま労働基準監督署、署長）

第二号委員：齊藤 倫夫（さいたま農林振興センター、署長）

田中 義枝（埼玉県朝霞保健所、所長）

第四号委員：山崎 悟（企画部長）

橋本 久（総務部長）

上篠 乙夫（教育部長）

第八号委員：大澤 仁香（日本通運(株)埼玉支店 新座コンテナ事業所、所長）

3. 傍聴者

2 名

4. 資料

- ・和光市防災会議 次第
- ・和光市防災会議委員名簿
- ・和光市地震被害想定調査 報告書（概要版）
- ・和光市地域防災計画 改定の基本方針と主要改定事項

5. 議事

5. 1 開会

事務局により開会が宣言された。

5. 2 会長挨拶

会長より、防災会議開催の挨拶がなされた。その内容は以下のとおりである。

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました、市長の松本でございます。本日はお忙しい中、平成 27 年度の第 1 回和光市防災会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、東日本大震災から時間は経ったわけではありますが、その後、防災の行政に関するいろいろな状況も変化してきております。特に震災に関する被害想定が変わりまして、そこへの対応というのが今回の大きなテーマにもなっているわけでございます。

また、皆様重々ご承知のとおり、火山の噴火の問題でありますとか、あるいは、ここ数日は台風の問題もありました。伊勢湾台風と似たルートをたどるのではないかと、いろいろな心配がなされたわけではありますけれど、常にそういった対応をバージョンアップしていくのが行政の仕事なのだと思います。

特に、この防災会議におきましては、災害に強い、そして安心安全な和光市をつくるために、皆様の協力を得て、新しいバージョンアップした計画を市民に公表していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日はお忙しい中、誠にありがとうございます。

5. 3 会議出席者の紹介

出席各委員が自己紹介形式で挨拶を行った。

5. 4 和光市地震被害想定調査結果について

事務局（危機管理室 統括主査）より、平成 26 年度に実施した和光市地震被害想定調査結果についての説明が行われた。

<質疑応答>

①（質問者：萩原 尚（和光市自治会連合会））

通信の不通回線数に携帯電話の基地局は含まれているのか。

（回答）

ライフラインの被害想定結果については、埼玉県が行った地震被害想定のと光市部分をそのまま使用している。その中で、通信の不通回線数については、固定電話に限った想定結果である。また、携帯電話については基地局がどのくらい被害を受けるといった想定ではなく、輻輳でかなり影響を受けるだろうといった想定が埼玉県でなされている。

5. 5 和光市地域防災計画改定の基本方針と主要改定事項について

事務局（危機管理室 専門員）より、改定の基本方針と主要改定事項についての説明が行われた。

<質疑応答>

①（質問者：渡井 悦子（和光市民生委員児童委員協議会））

福祉避難所とはどういうものか。

（回答）

市として現在、38箇所の収容避難所を指定している。それらの収容避難所とは別の、一度、所定の避難所に避難していただいた後に、特に福祉系のケアが必要な方に移動していただく、福祉専門の2次避難所が福祉避難所である。通常の避難所生活が困難な方に、より施設の整った場所で避難所生活を行っていただくために、今後、福祉避難所の指定等を進めていきたいと考えている。

上記の質疑応答も踏まえ、改定の基本方針と主要改定事項は防災委員により承認された。

5. 6 今後のスケジュールについて

事務局（危機管理室 統括主査）より、地域防災計画改定に関する今後のスケジュールについての説明が行われ、防災委員により承認された。

5. 7 閉会の挨拶

大野副市長より、閉会の挨拶がなされた。その内容は以下のとおりである。

本日は、台風11号がちょうど来ているということでその影響が大変心配されたところでございますが、幸いにも和光市には被害等はなく、一安心といったことでございます。外部の委員の方には、非常に微妙な時にこの会議にご参加いただきまして、厚く御礼申し上げます。

今回の防災会議は和光市における計画の今後の見直しについて協議いただいたわけであり、来年の1月の第2回防災会議での最終決定に向けて作業を進めさせていただきますので、その間におきましてご意見等々あれば、是非ともお寄せいただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は大変お忙しいところ、ありがとうございました。

5. 8 閉会

事務局より閉会が宣言された。

以上